



台風がきたらどうする？

1 備蓄品を確認しましょう

電気・ガス・水道が停止すると、復旧までに長い時間がかかることがあります。高層マンションでは、エレベーターが停止すると、上の階に住んでいる人は飲料水などの重い物を運ぶのに大変苦労しますので、備蓄をしておきましょう。



2 台風の進路を確認しましょう

台風による被害は、台風の規模や進路に大きく影響されます。台風は、上から見て反時計回りに強い風が吹き込んでいるため、台風の進行方向に向かって右の半円では風が強くなります。強風や高潮への備えをしっかりとしましょう。



3 危険な時間帯を確認しましょう

気象庁では、市町村ごとに今後の警報・注意報の危険度を時間帯ごとに発表しています。



気象警報・注意報：浦安市 🔍 検索

4 家屋の被害を軽減しましょう

家庭にあるものを使って、家への浸水を防ぐことができます。浸水深が浅い段階では有効です。

簡易水のうの作り方

- 1 大きめの袋を二重にして水を入れる
- 2 袋の口を閉める。 ※空気を抜く
- 3 ブルーシート上の段ボールに入れる
- 4 ブルーシートで段ボールを包む **完成**

止水板 (しすいばん) の作り方

- 長めの板を使用し、浸水を防ぐ **完成**
- 土を入れたプランターを、ブルーシートで包む **完成**

土のうステーション
道路政策管理課
☎ 712-6621

市民の方が自由に土のうを持ち出すことができる「土のうステーション」が市内に11カ所あります。

設置場所

- ・市内各公民館 (7カ所)
- ・市内消防署 (本署、今川・堀江出張所)
- ・富岡第3児童公園



5 強い風への備え

- 周りの人に迷惑をかけないよう、飛ぶと危険なものは対策をしましょう。
- 1 屋根に被害があった場合に備えて、ブルーシートを備蓄しましょう。
 - 2 植木鉢などは、飛ばされないように家の中に入れておきましょう。
 - 3 雨戸がない窓は、カーテンを閉めたり、飛散防止フィルムを張りましょう。
 - 4 物干し竿は、飛ばされないようにおろしておきましょう。



避難前に確認すること①

訓練 台風シーズンの前に訓練をしましょう！

「訓練マーク」がついている項目は、台風シーズン前に家族や地域の皆さんで確認したり訓練を実施しましょう。

1 避難の方法を確認しましょう

災害のリスクは地域によって異なるため、その特性を理解したうえで災害に備える必要があります。市では地域特性や災害への備えについてまとめた「浦安市地区防災 View」を作成しています。災害が起きた際にどう行動するか、ご家族などで考えてみましょう。また、高齢者や障がいのある人など、災害時に自分で安全に避難することが難しい「避難行動要支援者」については、担当のケアマネジャーなどと相談して、「個別避難計画」を作成し、避難方法等を確認しておきましょう。



浦安市地区防災 View

2 非常用持出品を準備しましょう

待避所の備蓄品には限りがありますので、自らが十分な準備をすると安心です。持出袋には、両手の空くリュックサックが便利です。

ジッパー付の袋に入れると
ぬれずに便利です



●非常持出袋 (リュックサックなど) に入れておきたいもの

- 下着類・衣類
- マッチ・ライター
- タオル
- マスク
- 非常食・飲料水
- 携帯ラジオ
- ビニール袋
- 現金 (公衆電話用に
便利な10円玉)
- アルミブランケット
- 予備の電池
- 医療品・お薬手帳
- 携帯電話などの充電器
- 懐中電灯・ろうそく
- 洗面用具 (歯ブラシなど)
- アルコールティッシュ

●家族構成によって必要なもの

- 離乳食・粉ミルク
- 紙おむつ・おしりふき
- 常備薬や介護用品など (高齢者や障がい者のための準備品)
- 生理用品
- ペット (犬・猫などの小動物) と避難するための準備品 (リード、ケージ、ペットフード、トイレ用品など)

●避難時の必需品

- 雨具 (カッパ)
- 手袋
- 運動靴
- 貴重品 (現金・健康保険証など)

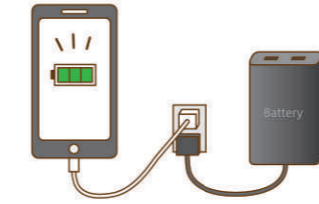
●あると便利なもの

- 使い捨てカイロ
- 床に敷くシート
- アイマスク・耳栓
- 携帯のバッテリー

3 やってよかった! 3つの備え!

①携帯電話のバッテリー

情報を集める上で携帯電話は大変重要です。停電時にも使えるようにしっかり充電しておきましょう。



②自動車

自動車は、冠水しない高い場所などへの早めの避難を行いましょう。また、浸水した車に触れると感電するおそれがあるので、むやみに近づくのはやめましょう。



③お風呂の水

断水した場合は貴重な生活用水として利用できます。

